

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	炎症の終息と組織修復に関与する免疫細胞システムの解明
研究代表者	吉村 昭彦 (慶應義塾大学・医学部(信濃町)・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>応募者は、免疫細胞のシグナルや転写因子の研究を精力的に行っており、転写因子 NR4a による制御性 T 細胞の分化制御機構や炎症終結におけるマクロファージスカベンジャー受容体の役割を明らかにするなど、国際的に最先端の成果を上げている。本研究は、これらの成果を更に発展させ、脳梗塞後の組織修復、神経再生における制御性 T 細胞や修復性マクロファージの役割を解明するとともに、神経炎症疾患の新たな治療法の開発を目指しており、応募者の高い研究遂行能力から十分な成果が期待される。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>